

10.5~6 動労千葉8回定期大会を成功せよ



83. 9. 17
No.1445

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

三里塚ー国鉄反合同闘争の爆発で、 反動中曾根体制を打ち倒せ！

国鉄当局の先兵になり下った動労「本部」革マル反動分子を粉砕・掃蕩し、
労農連帯の勝利の旗のもと、激動の80年代を意気高く前進しよう。
すべての組合員の皆さん、10・1カールビンソン佐世保寄港、10・9三里塚闘争、11・9レ
ーガンの来日、これらの今秋の闘いは、そのすべてにおいて、日帝・中曾根が、全体重をかけ
て、全労働者・人民を圧殺するものとして、決戦を挑んできているのであります。

同時に、八月二日、国鉄再建監理委員会の「緊急提言」を突破口に国鉄当局は、「職場規律
の厳正」をはじめとする、59・2に向けた、大合理化攻撃をかけようとしています。
こうした情勢のなかで、10・5、10・6わが動労千葉の第8回定期大会が開催されます。
すべての組合員の皆さんが、こぞって参加し、今秋から向う一年間の闘う体制確立のために
成功をかちとろうではありませんか。

三里塚・反合同闘争路線 こそ、勝利の道

この5年間全組合員の皆さんが全力をあげて、
三里塚ー労農連帯を軸に、八一・三ジェット闘争
を闘いぬくなかで、政府・権力・国鉄当局・動労
「本部」革マルの、大合理化・既得権剥奪・組織
破壊攻撃をはね返し、同時に右傾化する日本労働
運動の、戦闘的再生への指針となるべく闘ってき
ました。

それは、こうした闘いこそが、労働運動・階級
闘争の原点であり、労働者としての、生活と権利
を守る道であると確信したからであります。
だからこそ、今日の大反動情勢のなかでも、動
労千葉は意気けんこうとして、闘い続けているの
であります。

しかしわれわれは、これらの勝利的総括のなか
に甘んじては、ならないのです。闘いはわれわれ
に多くの教訓を与えました。これらを糧に今一度、
三里塚ー国鉄決戦の勝利に向けて突き進まなくて
はなりません。

現情勢がいまほど、労働者・人民に階級的思想
と自覚を、迫っているときはありません。

敵の先兵「動労「本部」」 革マルを一掃しよう

そして国鉄労働者には、既得権剥奪「生活と権
利まで破壊しつくすまでせまっています。
それは、「国家の危機救済は、国鉄再建にある」
とした、政府・国鉄当局による未曾有の国鉄労働
運動解体攻撃として、はっきりとみてとることが

できます。

同時にこうした攻撃は、われわれが屈服するの
か、反撃にたつのが真に問われてきているので
す。

そして、今日までの闘いが、動労「本部」革マルと
の組織争闘戦としてあったように、敵の反動攻撃
の先兵になり「国鉄を守ろう」「職場と仕事を守
ろう」を方針化し、闘う労働者に襲いかかる、動
労「本部」革マルをなんとしても打倒しなくては
なりません。

大会を成功させ、10・9三里塚 現地への総結集をかちとろう

すべての組合員の皆さんが、第7回定期大会以
降、4月中江選挙闘争に圧勝した、その底力と、
三里塚ー国鉄決戦の大爆発にむけ、大高揚をかち
とった8・8パイプライン供用開始粉砕闘争をバ
ネに、なにがなんでも第8回定期大会を成功させ
ようではありませんか。

こうした立場から10・9三里塚現地に、われわ
れ動労千葉を先頭に、すべての戦闘的国鉄労働者
を結集し、闘いぬこうではありませんか。

8回定期大会
とき. 10月5日. 10時
6日. 17時
とこ. 千葉グランドホテル

会場